

こんにちわ、リスさんクラブです

— 幼児と母親の交通安全クラブ — ①



このマークは、リスさんクラブのシンボルマークです。

今回から毎月5日号で、5回にわたり、リスさんクラブを紹介します。
—— どのようなクラブですか。

イギリスでは、1961年に子どもと両親の正しい交通行動を指導するため、幼児交通安全クラブが誕生しました。ここでは、幼児と母親がいっしょに、小学校に入るまで交通安全の勉強をし、ルールを守れるよう人間形成を行っています。

—— 富士市にできたのはいつですか。



富士市には、幼児交通安全クラブ（リスさんクラブ）が、昭和49年12月に初めて結成され、現在99クラブあります。

—— 市内ではなんくらい参加していますか。

リスさんクラブに参加している3歳から5歳までの幼児は、約3,800人市全体の約34.5%にすぎません。

また、お母さん約3,200人は、毎月1回幼児と共に交通安全教育に取り組んでいます。

自治功勞で知事表彰

昭和54年度の県知事表彰式が11月3日静岡県庁で行われました。市内では旭町の佐野晴雄さんが「自治功勞」として受賞されました。



佐野晴雄さん
(旭町・六十一歳)

佐野さんは、岩松村議会議員に初当選以来、旧富士市議会議員、富士市議会議員として在職通算24年有余の長きにわたって地方政治に参画し、この間、市議会議長、同副議長をはじめ常任および特別委員長等の要職を歴任し、地方自治の確立と住民福祉の向上につくされました。

グループ訪問⑩

あふれる若さと行動力

大淵青春友の会

「今晚わ!」「オッス!」と元気のいいかけ声で入ってくる会員たち。

大淵青春友の会の活動の拠点である公民館は、若い人たちの熱気でつまれている。

「今、青年祭に出場するため、創作劇の練習中です。」と熱っぽく語ってくれる事務局長の秋山初雄（23歳）さん。

会長の渡辺政己（26歳）さんは、「とにかく毎晩、忙しくて忙しくて自分の家にいるのは、寝るときぐらいです。」とのこと。

活動の内容を聞いてみると

8月—地区体育祭に協力、9月—敬老会に演劇（喜劇）を披露、10月—地区の青年ソフトボール大会、11月—青年祭とスケジュールはいっぱい。このほか学習活動として、青年講座や女子講座も行っている。

毎月第1水曜日に開いている全体集会では、行事の計画や反省などで会員の意見が飛び交う。

活動の主となることは、すべて会員全体の話し合いで決めている。



会員は、大淵に住んでいる19歳から26歳までの青年60名。

最後に、副会長の山田博子（23歳）さんは、「青年団活動は、両親や地域の人たちの理解がないと発展しません。」と話してくれました。